学校番号 302

## 令和5年度 理科

教科	理科科目		化学(4単	位)	単位数	4 単位	年次	3年次
使用教科書	改訂 新編化	二学 (東	京書籍)					
副教材等	ニューサポー	ト 改訂	新編化学 ()	東京書籍	籍)			

## 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

「世界は、目に見えないほど小さな粒からできている」 これが、この世界の真実です。化学では、目に見えない小さな粒 (=原子) を学んでいきます。 みなさんは小さな粒などを頭の中でイメージしながら思考していきます。 普段から、身の回りのものをイメージするクセを身につけておいてください。

#### 2 学習の到達目標

自然に対する関心や探求心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てると共に基本的な原理・法則を理解する。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	化学的な事物・現象に 関心や探究心をもち、 主体的に探求しようと するとともに、科学的 態度を身に付けてい る。	化学的な事物・現象の 中に問題を見いだし、 探求する過程を通し て、事象を科学的に考 察し、導き出した考え を的確に表現してい る。	化学的な事物・現象に 関する観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの 過程や結果を的確に 記録、整理し、自然現 象を科学的に探求する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に 関する基本的な概念 や原理・法則を理解 し、知識を身に付けて いる。
評価方法	学習状況の観察 授業プリント・課題プ リントの記述 実験・実習の記録	学習状況の観察 授業プリント・課題プ リントの記述 実験・実習の記録	学習状況の観察 授業プリント・課題プ リントの記述 実験・実習の記録	学習状況の観察 授業プリント・課題プ リントの記述 実験・実習の記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

# ※令和3年度以前入学生用

# 4 学習の活動

			主な評価の観点					
学期	単元名	学習内容	a	b	С	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1 学期	中和反応と塩物質の状態	中和反応 塩 中和滴定 pHの計算 気体・液体間の状態変化 混合気体, 理想気体と 実在気体	0	0	0		関心を持ち、意欲的に探求しよう ワーク とする。 ト b:気体について考察し、状態方程 観察・	学習状況 ワークシー ト 観察・実験 定期考査
	態	溶液の濃度コロイド溶液結晶			0	0	d:溶液や結晶について理解し、知識を身につけている。	
2学期	化学反応とエネルギー	反応熱 へスの法則、 結合エネルギー 電池 電気分解		0	0	0	a:電池などを通じて反応熱について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。b:物質について考察し熱化学方程式などを導き出すことができる。電池の原理を思考できる。c:電池や電気分解の物質量の計算ができる。d:電池や電気分解について理解し、知識を身につけている。	学習状況 ワークシー ト 観察・実験 定期考査
	無機物質	非金属元素とその化合物金属元素とその化合物	0	0	0	0	a:1 学期で扱った物質を通じて日常生活について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。b:物質について考察し使用されている様子を導き出すことができる。c:物質の性質に関する実験から未知の物質を特定することができる。d:物質について理解し、知識を身	
							につけている。	

2 学 期	有機化合	有機化合物の特徴	0				a: 有機化合物を通じて日常生活 について関心を持ち、意欲的に探 求しようとする。	学習状況 ワークシー ト
	合物	アルコールとエーテル			0	0	b:物質について考察し使用されている様子を導き出すことができる。	観察·実験 定期考査
		油脂とセッケン		0			c:物質の性質に関する実験から 未知の物質を特定することが できる。	
		有機化合物と人間生活	0				d:物質について理解し、知識を身 につけている。	
3 学 期	高分子化合物	天然高分子化合物		0	0		a: 高分子化合物を通じて日常生活について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 物質について考察し使用され	学習状況 ワークシー ト 観察・実験
		合成高分子化合物			0	0	ている様子を導き出すことができる。 c:物質の性質に関する実験から 未知の物質を特定することが	定期考査
		高分子化合物と人間生活	0				できる。 d:物質について理解し、知識を身	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:観察・実験の技能 d:知識・理解

## ※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について ○を付けている。